

パプリカの有望品種	
[要約] 黄色種のFIESTA, CAPINO, 三光, 赤色種のSPIRIT, TOLKAL, EDISON, オレンジ色種のパプリオレンジが有望と思われた。	
農業総合センター鹿島地帯特産指導所	
キーワード	パプリカ, ヒンシュ

1. 背景・ねらい

パプリカの消費が増え、国内産の優良産地の育成が求められている。パプリカの栽培技術を確立するため、ここでは、有望品種の選定を行う。

2. 成果の内容

1) 8月5日は種の促成栽培で22品種を供試した結果、黄色種のFIESTA, CAPINO, 三光, 赤色種のSPIRIT, EDISON, TOLKAL, オレンジ色種のパプリオレンジが有望と思われた。

黄色種では、FIESTAは、果実がやや長めの丸形で揃いが良く、良品率が高く、果色が優れた。CAPINOは、丸形で揃いが良く、良品率が高く、果色が優れた。三光は、凹凸の少ない丸形で揃いが良く、良品率が高く、果色が優れた。

赤色種では、SPIRIT, EDISON, TOLKALは、丸形で揃いが良く、良品率が高く、果色が優れた。

オレンジ色種では、パプリオレンジは、丸形で揃いが良く、良品率が高く、果色が優れた。(表1)

4月頃からウィルス感染による葉のモザイク症状が目立ち始めたが、カラフルイエロー, 三光, CAPINO, FIESTA, SPIRIT, EDISON, TOLKAL, パプリオレンジは、葉のモザイク症状は見られなかった。(表2)

2) 12月15日は種の半促成栽培で22品種を供試した結果、黄色種のFIESTA, 三光, 赤色種のSPIRIT, EDISON, TOLKAL, オレンジ色種のパプリオレンジが有望と思われた。(表3)

3. 成果の活用面・留意点

1) 高温期に果実のひび, 変形, 日焼け, 尻腐れの発生が目立った。

4. 具体的データ

表1 収量・品質

	前期17~3月		後期4~6月		全期			(g個/株, kg/a)		総合評価
	良果	良果	良果	良果	良果率(%)	良果個数	1果重量	a当換算収量		
(黄色種)	g	g	g	%	個	g	kg			
カラフルイエロー	1256	1255	2511	74.9	15.2	165.2	440.4			
影イエロー	1060	1064	2122	67.3	14.4	140.1	300.7			
ソニアイエロー	1136	1200	2416	80.7	16.2	149.1	431.4			
パプリイエロー	1000	1637	2645	89.3	13.6	194.5	472.2			
三光	1422	1275	2697	90.1	14.2	189.9	481.6		○	
Yビーマン	1120	736	1856	57.4	11.2	165.7	331.4			
ゴールデンベル	1038	1038	2074	65.0	17.0	122.0	370.4			
CAPINO	1356	1345	2701	89.5	14.0	182.5	482.3		○	
FJESTA	1740	2060	3800	87.6	24.0	150.6	679.7		◎	
(赤色種)										
ガーネット	686	644	1330	53.6	14.0	89.9	237.5			
ワンダーベル	808	624	1432	53.0	12.0	119.4	255.8			
パプリレッド	1000	1283	2283	66.6	13.2	173.0	407.7			
影レッド	790	778	1568	51.9	11.0	132.9	280.0			
Rビーマン	648	621	1269	35.8	7.0	162.7	226.6			
カラフルレッド	4	436	910	27.9	5.2	176.5	163.9			
SPIRIT	1008	1729	2737	86.0	16.6	164.9	480.7		○	
EDISON	1566	1553	3119	71.6	16.6	187.9	552.0		○	
EVIDENT	1366	1048	2414	54.6	14.4	167.6	431.0			
TOLKAL	1320	1158	2478	62.0	12.0	193.0	442.5		○	
(オレンジ色種)										
カラフルオレンジ	892	622	1514	57.6	8.6	176.0	270.3			
パプリオレンジ	1132	1262	2394	86.3	14.2	160.6	427.4		○	
EAGLE	794	1055	1849	66.1	9.8	188.7	330.2			

は種 8月5日、定植 9月15日

表2 ウイルス症状発生件数 (促成栽培 調査日5月31日)

	(株)			
	健全	葉部えそ	枯れ死	モザイク
(黄色種)				
カラフルイエロー	9	1	0	0
影イエロー	0	0	0	10
ソニアイエロー	0	0	0	10
パプリイエロー	0	0	0	10
三光	1	0	1	0
Yビーマン	0	0	0	9
ゴールデンベル	0	0	0	10
CAPINO	9	0	0	0
FJESTA	9	1	0	0
(赤色種)				
ガーネット	0	0	0	9
ワンダーベル	0	0	0	10
パプリレッド	0	0	0	10
影レッド	0	0	0	9
Rビーマン	0	0	0	10
カラフルレッド	4	0	0	6
SPIRIT	6	3	0	0
EDISON	5	5	0	0
EVIDENT	0	0	0	10
TOLKAL	9	1	0	0
(オレンジ色種)				
カラフルオレンジ	0	0	0	0
パプリオレンジ	8	2	0	0
EAGLE	0	0	0	10

健全：生長点付近に明瞭なモザイク症状及び罹病体にえそ斑が見られなかった株

葉部えそ：葉部に黒褐色のえそ斑が見られた株

枯れ死：葉、莖等にえそ症状が発生し、枯れ死した株

モザイク：生長点付近に明瞭なモザイク症状が発生した株

表3 収量・品質 (半促成栽培)

	前期6~7月		後期8~10月		全期			(g個/株, kg/a)		総合評価
	良果	良果	良果	良果	良果率(%)	良果個数	1果重量	a当換算収量		
(黄色種)	g	g	g	%	個	g	kg			
三光	1813	1594	3407	89.0	20.4	167.0	600.4		○	
FJESTA	1522	1660	3182	87.4	27.2	117.0	560.2		◎	
(赤色種)										
SPIRIT	1453	1758	3211	95.3	21.9	146.6	573.4		◎	
EDISON	1322	1424	2746	91.7	15.0	183.1	480.4		○	
TOLKAL	1232	2076	3308	88.5	20.6	160.6	590.7		◎	
(オレンジ色種)										
パプリオレンジ	1694	1316	3010	86.9	22.4	134.4	537.5		◎	

は種 12月15日、定植 3月12日

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

パプリカの安定生産技術の確立・平成10~14年・鹿島地帯特産指導所